

平成29年度 03飯山高等学校 学校評価表

学校教育目標	中・長期的目標	総合評価
1 高い知性と豊かな心、健やかな体を育み、自ら考え探究する力を養う。 2 個性や能力を伸ばし、自主・自立の精神と敬愛・協同の精神を培う。 3 社会の一員としての自覚を高め、進んで社会に貢献する人物を育てる。 4 国際社会を深く理解し、平和を希求する人物を育てる。	(1) 生命・人権尊重の精神と敬愛・協同の精神を養い、安心・安全な学校づくりを行う。 (2) 生徒の主体性を育み、個性の伸長と智・徳・体の育成を図り、探究的な学びを通して学力の向上を図る。 (3) 開かれた学校づくりと地域や外部機関との連携を推進し、生徒の社会参画の力と未来を創造する力を育てる。	点数の計算式 (A%×10+B%×8+C%×5+D%×0)÷10 各項目の得点
	今年度の重点目標（評価項目） ① 生徒一人ひとりに居場所があり、互いの存在を認め合う人間関係と期待感のある学校を創る。 ② 学科の特色を生かした学習活動を充実させ、生徒の個性や能力を十分に伸ばすとともに、将来展望をふまえ学科や教育課程のあり方を検討する。 ③ 授業改善に取り組み、高い志と自ら課題を発見し解決に挑む力を育て、進路実現につなげる。 ④ 生徒と社会をつなげる教育活動を積極的に展開するとともに効果的な情報発信を行う。	

A(よくできた) B(だいたいできた) C(やや不十分) D(不十分)

重点目標	評価項目	主となる分掌	評価の観点	項目	評価%				成果と課題	来年度に向けた提言や意見
					A	B	C	D		
①	生徒一人ひとりに居場所があり、互いの存在を認め合う人間関係と期待感のある学校を創る。	1学年	・望ましい生活習慣(挨拶・清掃・時間厳守)と学習環境づくりができたか。 ・学科を越えた交流の場を増やし、学年の一体感を醸成することができたか。 ・生徒同士、学校生活の課題を話し合い、主体的な取組を推進できたか。	1	35	65	0	0	・挨拶・清掃など望ましい生活習慣は身につけてきたように思われる。学科を越えた学年全体の一体感については、オリエンテーション・通常授業での交流・サイエンスツアーのプレゼンなど多くの機会ができ、まとまりができた。今後も2年次課題研究などで学科を越えた一体感を生み出していきたい。	・学科が三つあることで生徒も先生方も大変だが、歪をなくしてみんなをいい方向に向かわせて欲しい。
		2学年	・様々な機会に意見表明の場を設定し、主体的な行動を促すことができたか。 ・自らの不備を自覚し、改善努力するお互いを尊重する集団を育成できたか。 ・研修旅行や各種行事を通じ、互いの意見の差異を埋めながら、組織(クラス・学年・部活・生徒会)に関与しようとする姿勢が身につくよう支援できたか。	2	21	74	5	0	・被推薦者を公表して立候補アンケートを行い、結果は役員選挙当選者に委ね公平な役員選出を心掛けた。来年は18歳の選挙権行使に際し、意見表明権と他者の名誉を尊重する姿勢を育てたい。 ・台湾研修旅行は各方面の手厚いご支援を頂き、無事終了することができた。クラスを解いて見学地別に編成した台北市内見学では、クラスや科をこえて協力できた。	・生徒が主体的・自治的に活動できる場を増やしてほしい。 ・グループワークを取り入れ、話す力を身につけてほしい。
		3学年	・生徒一人ひとりの進路目標の設定とその実現に向けて、指導や環境づくりができたか。また、主体的に学校生活に取り組む姿勢や、お互いの考えの違いを認める態度を育て、学力や人間力の向上を図ることができたか。	3	38	63	0	0	・四年制や短大、専門学校への進学指導および公務員や民間企業への就職、それぞれに応じた進路指導体制を進路指導係とも協力しながら行うことができた。就職希望者には早期に会社見学や受験準備を行い、希望者全員の就職が実現できた。進学指導は通常日の放課後補習や土曜日補習、夏期補習、学習合宿を行い学力向上に努めた。	・AIなどの将来のことを考え、進路選択をお願いしたい。来年度も大学の先生や職業体験などの機会を設けていただきたい。
		生徒会係	・生徒会活動・クラブ活動等の自主活動を充実させることができたか。 ・生徒一人ひとりが活躍できるよう支援し、生徒の学校生活の充実を図れたか。	4	33	67	0	0	・生徒たちが意欲をもって生徒会活動・学校行事に参加する気持ちを持つことができるような新しい試みを行うことができた。	
		生活指導係	・人権尊重といじめ暴力のない安心安全な学校づくりができたか。 ・多様な生徒たちに対し生徒相談の体制と充実させることによって、生徒個々の理解と支援を行うことができたか。	5	23	58	20	0	・交通安全街頭指導、遅刻指導、校内巡視、バイク通学希望者指導、駐輪場指導を行い、性、薬物乱用、人権に関して例年と同じく教室を開いた。指導事案発生に対しては横の連携を密にして対応が遅れないように対応していきたい。	・自転車事故などに対して、一步踏み込んだ指導をお願いしたい。
		保健環境係	・生徒の心身の健康を支援する活動や全体での取組ができたか。	6	33	67	0	0	・日常活動において、周囲の情報や健康な生活について通知を出したり、インフルエンザの流行に対応した予防策を直接呼びかけたりして、臨機応変な対応をすることができた。	・先生方の健康問題についてもしっかり調査をし、勤務形態を改善して欲しい。
		環境整備係	・新校舎を大切に長く気持ち良く使えるように美化に努めたか。 ・望ましい教育環境の整備ができたか。	7	26	59	15	0	・清掃用具庫の管理を生徒に任せたことで、備品に関する生徒の意識が改善されつつある。ゴミの分別を制度として導入できた。ゴミステーションに生徒を当番でつかせることで、分別の仕方に関する知識が生徒に浸透してきた。	・生徒委員や先生方の指導に加え、委員会によるチェックが必要。
②	学科の特色を生かした学習活動を充実させ、生徒の個性や能力を十分に伸ばすとともに、将来展望をふまえ学科や教育課程のあり方を検討する。	各教科	・各学科や各教科の特徴をふまえ、生徒の能力・個性に応じた指導で学力を伸ばすことができたか。	8	28	70	2	0	・幅広い多様な目的を持った生徒が入学してくる本校の状況の中で、学科に応じ、個々の志望に応じ、きめ細やかな授業が展開できていると感じている。一方で、少人数の講座の対応は今後の課題となる。	・今後必要とされる学力について研究を深めるのが大事。講座分けを進路別にするなど。
		普通科	・多様な生徒の学力に応じた、学習環境・進路指導が示せたか。	9	29	67	5	0	・年間を通じ、学年を通して多様な学力・進路希望に応じた指導ができています。	・課程・選択科目の見直しなど必要。
		探究科	・探究活動を通して、知識と興味を補完させながら学習の深化・高度化を図れたか。	10	34	66	0	0	・課題研究を中核に据えた探究科のカリキュラムが固まってきている。課題発見・調査・実験・発表に至る経験を積む機会を増やしてきており、特にプレゼンテーション能力の向上が見られ、課題発見力育成が課題となっている。	・課題研究は、進学の際に有効であることを伝えることが必要。
		スポーツ科学科	・学科の特徴をふまえ、生徒の能力・個性に応じた指導で学力を伸ばすことができたか。 ・課題研究に積極的に取り組むことで、課題解決力やプレゼン能力を伸ばすことができたか。	11	30	65	5	0	・いくつかの改善を試みながら取り組んだ結果、評価の観点についてはほぼ実践できているが、スポーツ科学科の将来像を鑑み、更なる向上の為に取り組むべき課題がある。課題研究については、他学科の連携を図りながら、大幅な見直しと改善に取り組んでいる。スポーツ科学の3年間の学習の成果のまとめに相応しい内容を目指したい。	・スポーツを通じ、さらに技術を高め、多方面で活躍できるようにしてほしい。礼をつくすことを教えてほしい。
学校運営会議・カリキュラムマネジメント委員会	・学びの改革を踏まえ将来を見据えた学科のあり方や教育課程の研究を進められたか。 ・信州学の編成を進めることができたか。	12	18	53	30	0	・定期的な学校運営会議が開催され、各分掌や係等で話題にしていってもらい意識の共通化が図れた。学びの改革を踏まえた具体的な対応については、今後検討を重ねていきたい。信州学についてはRESASが導入されたこともあり、各教科で工夫し授業等で活用できた。予算については、限られた枠の中で多くの希望があり意識の高さを感じた。	・現在の教科授業の充実を図ることが最優先。		
③	授業改善に取り組み、高い志と自ら課題を発見し解決に挑む力を育て、進路実現につなげる。	各教科	・アクティブラーニングやICTの利用など、授業内容や方法について各教科で研究し、生徒が課題を発見して解決するまでの力を育成できたか。	13	26	59	15	0	・ICTの活用においては、一部の職員が積極利用をしている側面がある。なかなか利用できていない職員のためにも、今後は校内での授業公開を広げ、学習の場を多く設けたい。何よりも他人の授業を見に行く雰囲気作りを心がけたい。	・何か機械があれば生徒の方から住民にプレゼンして欲しい。
		学習指導委員会	・シラバスの提示・授業アンケート・各テストの資料分析等をもとにした授業改善を行うことができたか。	14	28	70	2	0	・お互いの授業を見合うことで授業改善につなげてほしいと企画した校内授業公開週間であったが、授業を見に行く職員が少なく残念であった。自分の授業改善につなげるためにも、もっと積極的に授業を参観する姿勢が欲しかった。	・先生方も授業の仕方を変えていく必要があると感じる。
		進路指導係	・21世紀型を含めた学力の向上を目指す取り組みをする中で、進路意識の向上と進路実現を図ることができたか。 ・多様な生徒の進路希望に対応する、きめ細かな指導ができたか。 ・高大接続等、新テストに対する研究をすすめることができたか。	15	29	67	5	0	・就職希望の生徒に対してガイダンスや面談を行い、就職希望者は全員内定することができた。校外での進路ガイダンスや説明会に積極的に参加を呼びかけ、多くの生徒が参加し自分の希望分野について学ぶ機会となった。高大接続や大学入学共通テストについて情報を集め、研修会を開き、通信等で情報を共有する取り組みをした。継続して英語外部テストや推薦入試の研究、eポートフォリオの活用など、学年や各教科と連携しながら研究していきたい。	・進路について、もっと情報を発していただきたい。
		飯山カリキュラム委員会	・地元小・中学校と連携を取り、数学・英語・理科を中心に学力向上のための取り組みができたか。	16	34	66	0	0	・この事業も10年が経ち、時代の変化と共に始めた頃の考え方が薄れてきているが、地元小・中学校との連携を大切にしながら重要な部分を残しながら前進し飯山市と連携して「飯山高校の魅力」を伝えられるようになればよい。	・英語について小中高と連携して海外の交流をしたい。
SSH・探究科運営委員会	・各教科の主体的・探究的・協動的な学習活動を通じ、授業における疑問から「課題研究」のテーマ設定をする生徒が増加しているか。 ・「課題研究」を中心に据えた教育プログラムにより課題発見・解決力を育成できたか。科学系コンテストに出場する生徒が増加したか。	17	30	65	5	0	・課題研究を中核に据えた探究的学びのカリキュラムを探究科・普通科・スポーツ科学科の全てで実践・発表会を行うことができた。また対外的なコンテストへの出場数も増え、全国レベルで入賞するグループが複数あった。研究資料の調達、発表に対する旅費の補助にSSHの支援を受けている。	・国も県も探究的な学びを強く打ち出している。中学校の様子をみて欲しい。		
④	生徒と社会をつなげる教育活動を積極的に展開するとともに、効果的な情報発信を行う。	教務係	・学校HPや飯高ジャーナル等を通して、情報を速やかに発信できたか。 ・公開授業や体験授業を通して、学校と地域の活性化を図れたか。	18	18	53	30	0	・飯高ジャーナルは魅力的な紙面で充実した情報が発信できた。公開授業や体験授業については概ね目的を果たしていると感じている。	
		PTA厚生係	・PTA総会、支部PTA総会への参加率向上が図れたか。 ・PTA行事の企画運営を保護者とともに行っていったか。 ・PTA会報の発行等をおして情報発信が図れたか。	19	20	61	16	2	・PTA総会全体会出席者数、学年・学級PTAの出席予定者数はともに昨年の1.5倍となった。支部PTA出席者数は総会・支部総会とも参加率向上のための新しい方法も必要かと思われる。	・インフルエンザに罹患した生徒がテストを受けるなどの実態があったようだが、もっと良い対応がないか考えていただきたい。
		生徒会係	・生徒が自主的に地域の行事へ参加し地域の方と協力できるよう生徒会活動・クラブ活動等を支援することができたか。	20	20	61	20	0	・1年間を通じて生徒会、クラブ・同好会等様々な形で地域の行事に参加し、運営を補助することができた。しかし、あくまでも生徒本人の自主的な参加の形を継続していきたい。	・雪祭りなどの生徒からの提案は嬉しかった。「市長と語る会」を数多く実現して欲しい。
		同窓会係	・同窓会の組織づくり(名簿の作成など)を確立することができたか。	21	25	65	10	0	・同窓会で生徒を支援するため組織作りを具体的に進めることができた。活動を広く会員の皆様に紹介できる準備ができた。色々な形で今後も支援できるようにしていきたい。	